

錦二丁目 新会所・路地

七番(ななばん)見学会



8/27(土) 10~13時、錦二丁目「喫茶・スペース七番」を見学させていただきました。参加者は案内の名畑恵さんを含め6名。16街区の7番地にあり、2004年からこの地域に関わってらっしゃる名畑さん、この付近にはコミュニティーセンターが無くて公民館の役割も担うとのことでした。会所(喫茶テラス席)から4方へ緩くうねった路地が伸びます。はなれ棟との間の路地は上部ルーバー屋根で、木漏れ日の下のような雰囲気です。喫茶・レンタルスペースはマンションの共用部で、はなれ棟は床を購入して店舗を誘致しているそうです(ネイル・洋服・スイーツ、1店舗は誘致交渉中)。コロナ禍で周囲との合意形成がとれなくて絶望の中だったときは、飲食店へ補助金情報(QRコード)をまとめた資料を配布するなどサポートに努めたとのこと。また市認定団体なので、各部会に行政の担当課の方が参加、応援会議(15課程合同)もあるということでした。ラウンジには国内外の絵本棚(延藤文庫)もありました。

喫茶のカウンターは、昔あったアートセンターのフレスコ壁画を再利用してまちの歴史をつないでいたり、歴史的街区を模した床グリッドや椅子がありました。テラス席にはパラソル用のキノが埋まり、キッチンカーを呼んだり、マルシェや映画の上映会等が開催されているそうです。周囲の歩道には、地域のまちづくり活動のウッドデッキ・スチールベンチ、プランター等が楽しく並んでいて、7番から16街区へ取組みが広がっていく様子がよくわかります。借入金を返済して次世代へつなげたいという言葉、次の世代への想いが伝わってきました。子供の頃に、長者町カルタをして遊んだ子供が大きくなって、大学でまちづくりを学んでいて、将来は錦二丁目へ帰ってきたいと言ってくれているそうです。リアルな世界で、まちづくりのエネルギーは響きあって、まちのひとと共に進化しつづけています。(黒野)



❖❖❖ 参加者の感想 ❖❖❖

- ・所属外であるにもかかわらず、勉強させていただきありがとうございます。まちづくりにも関わることがありますので「なるほど」と思うことが多々ありました。今興味をもっていることは音楽や展覧会など「名古屋飛ばし」されないまちづくり、文化的に成熟したまちづくりです。(松田)
- ・錦二丁目エリマネ会社のナゾが少し解けたように思います。今後の活動に注目したいと思いました。ファシリテーターの養成講座について、企画も興味深いと思います。(入谷)



▲喫茶カウンターは内外つながる

- ・大変勉強になりました。夢が広がりました。又おじゃまいたします。今興味をもっていることは、未来社会を考えることです。(古田)
- ・久々の長者町でした。繊維街が変化していてうれしい驚きでした。名畑さんの時間をかけての取組みに感心しました。建物まわりの緑や路地の緑にいやされます。四季の変化も楽しみです。2030年までのロードマップの中間地点に到達したところだそうです。2030年までどのように発展・変化があるのか楽しみです。(奥野)



▲都市の木質化のウッドデッキ



▲自生するアサガオ



▲大学と連携のスチールベンチ



▲ラウンジ・木のキッズスペース

錦二丁目
七番
喫茶スペース

